

## 3コース ハンズオンセミナー

# 身につけよう!役立つ咬合印象法 - 術式と技工テクニック

## — 診療室でも在宅診療でも、明日から使えるテクニック —

製作した補綴装置が口腔内で十分な機能を発揮するには、咬合調整が重要になります。しかし、チェアサイドにおいて製作された補綴装置の咬合面の咬頭や隆線が、調整後に消失することはよく見られます。特に最後方臼歯を含むクラウンやブリッジの症例では多く見受けられます。なぜ咬合調整量が増えるのか?それは上下顎歯列を開口状態で印象採得し、閉口して咬合採得する、この術式に問題があります。開口時には外側翼突筋による下顎歯列の狭窄やたわみが生じます。そのため印象採得時の開口位と、咬合採得時の閉口位という、異なる二つの顎位で採得したものを咬合器上であわせるため、正しく口腔内を再現することができません。そこで当講座では1/3顎程度までの症例に対し、患者個々の正確な咬合面形態が再現できる咬合印象法を行っています。咬合印象法は、咬頭嵌合位で「患歯の印象採得」「対合歯部の印象」「咬合採得」を同時採得できます。北米ではクラウンの症例の約80%が咬合印象で行われています。専用のディスプレイタイプのトレーが必要となりますが、3つの操作が同時に行え、患者、術者ともに負担の少ない術式です。また、咬合印象体に石膏を注入することや、歯型を製作する操作は煩雑と思われるがちですが、簡易な咬合器を用いて簡単、正確に行えます。日常臨床での効率性を求め、機能的な咬合面形態を製作する方法として術式と技工テクニックを習得していただきます。

日時

7月23日(日)  
10:00~16:00

定員

20名

会場

大阪歯科大学天満橋学舎

対象

歯科医師

研修費

歯科医師(会員)25,000円  
 歯科医師(卒後5年までの会員)15,000円  
 歯科医師(会費未納者、他大学)35,000円  
 ※(実習材料費10,000円を含む)

講師

### 田中 順子



[略歴]

1993年 大阪歯科大学卒業  
 1999年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座 助教  
 2010年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座 講師  
 2012年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座 准教授(現在に至る)

[所属学会]

日本補綴歯科学会専門医・指導医  
 日本口腔リハビリテーション学会認定医・指導医  
 日本交流分析協会交流分析士1級

## ◎天満橋学舎の会場地図

